

公表	児童発達支援事業所における自己評価総括表
----	----------------------

○事業所名	ステップスマイルのだ		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別音楽療法 発達の土台となる5つの感覚を培う。 (前庭覚・固有覚・触覚・視覚・聴覚)	個々の発達課題や特性に合わせた活動を提供している。 身体を動かす取り組みを一緒に取り入れることで、次の活動に集中して迎える環境を作り出来る経験を増やせるよう取り組んでいる。	保護者へのごまめな情報共有と連携を密に取っていく。
2	ことば音楽療法(発語支援) 楽器遊び、絵本の歌いきかせ、パネルシアターなどを通して刺激を与え「音を聞く」「音を合わせる」といったことを意識し、正しい発声や発語を促す。	個々の発達課題や特性に合わせて支援回数を増やしたり必要に応じた活動を提供している。	職員同士のごまやかな情報共有と実践と振り返りを継続して取り組んでいく。
3	リタリコ教材の活用 リタリコ教材を活用することによって長期的に一律し安定した支援に繋がる。	基本的な生活スキルからひらがなや数字の読み書き、SSTなど基礎から応用まで段階を踏んで的確な定着に向けた支援ができる。	職員間の教材の使いこなしや研修動画をしっかりと活用していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の場、お出掛け支援を行う機会が少ない。	地域のイベントや保護者同士の交流の場をもっと広げていきたい。	地域のイベントの把握や人員の配置を確保するなど、できる事を増やしていく。
2	階段を含む構造であり、日常的に階段の昇降が必要になる。	メインルームが2階、音楽・運動スペースが3階に設置されているため、生活や活動の同線の中で階段移動が生じる構造になっている。	安全確保を最優先とし、職員間の連携を図りながら見守りを徹底している。
3			

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 ステップスマイルのだ

公表日 2026年 3月 4日

利用児童数 16

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1	1			安全に楽しく過ごせるように工夫して過ごしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13			3		適切な人員配置をしています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2		2		階段はあるものの、手すりを設置するなどバリアフリー化に努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15			1		毎日の掃除や消毒を行い清潔な環境を整えています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1				定期的な面談、毎朝のMTGを通して児童の様子や特性に応じた支援が出来るよう話し合い実践しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1		1		合っています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					子どもと保護者のニーズを第一に考え、どのようなことが出来るかを考え支援に努めています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					ガイドラインに沿った内容で設定、作成しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15				1	療育プログラムは子どもに合わせて固定化しないように内容を変えて取り組んでいます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	10	1			5	他事業所との交流はありますが保育園等との交流に関しては検討中です。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1				契約時、行っています。負担額の変更や書類に更新事項があった際には随時お伝えしています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					行っています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2		5		ペアレントトレーニングは行っていませんが、保護者からの希望や必要に応じて個別面談を実施しています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16					サービス提供記録や送迎時に、お子様の様子を共有しています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16					半年に1度のモニタリング面談を実施すると共に、送迎時などにお子様の様子を共有しています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1				分からないことなどを都度確認できる環境を整えています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	9	1	1	5		保護者の交流会を検討しています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	2		相談の申し入れがある際には、迅速に対応をしています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1			絵カードを使用した視覚的支援や、保護者とも送迎時やデジタル媒体を使用したコミュニケーションを小まめに取るように努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13		3		行事予定や活動の様子をお便りにてお伝えしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15		1		職員全員に周知し徹底しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1	2	1階にカメラ付きインターホンがあれば良いと思う。	マニュアルを作成しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1	2		避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15		1		行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15		1		契約時に説明を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1			今後も安心して通所していただけるように工夫して取り組んでいきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			今後も楽しんで通所していただけるように工夫して取り組んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				個々の特性やその時の状況に合わせた支援を考え実施しています。

公表 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		ステップスマイルのだ				公表日	2026年 3月 4日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		定められた定員、スペースで過ごしている。2階3階での活動時間を調整するなど工夫をしている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		専門性の知識を備えた職員配置に努めている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		入ってはいけない場所などの視覚化をしている。	階段があるが子どもが握れる位置に手すりが付いている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の掃除、活動玩具の消毒をし清潔な空間で過ごせるようにしている。季節に合わせた壁面づくりに取り組んでいる。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		運動療育、音楽療法、学習スペースなど3階フロアを必要に応じて使用している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		毎朝のMTGにて前日の振り返りや課題の周知に取り組んでいる。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		モニタリングや個別面談に加え、保護者の方からのご意見やご要望があった際には迅速な対応に努め改善に繋げている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎朝のMTGや共有ノートを活用し把握、改善に努めている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	社内での全体会議での客観的視点やご意見、相談支援員さんからのご意見やご指導を頂くようにしている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		法人内研修や定期的な研修案内より希望する研修に参加できる。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	保護者や外部からの視点を工夫し、子どもの生活空間の一部に馴染むよう工夫している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		半年に1回のモニタリング面談や送迎時に小まめにコミュニケーションを計りニーズに合わせた支援計画を作成している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援計画書を作成するにあたり、職員全員で会議を行い、支援の内容を共有をしている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		職員全員が支援計画書に目を通し、前日の取り組みなどを共有し計画に沿った支援になるように努めている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	児童の様子や適応行動を日誌や療育記録として記録している。	専門的なツールがあれば活用したい。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		ガイドラインに沿った支援計画を設定している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		MTG内にて職員で相談しながら立案している。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		活動の振り返りにてプログラムに工夫を加え取り組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動での支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝のMTGにて支援内容、役割分担を確認共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	6	1	必要に応じてデジタル媒体にてし情報共有をしておいたり、翌日のMTG内でも共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日誌、療育記録、デジタル媒体、その日の特記事項を記録し振り返りが出来るようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年に1度のモニタリング面談を実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		子どもの状況をよく理解した者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		連携を取り支援を行っていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	園への送迎時、園での様子や当事業所での様子を小まめに情報共有するようにしている。支援計画についても共有する機会を設けている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		積極的に情報共有を行っていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				積極的に機会を設けていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		法人内他事業所との交流はあるが、一般の保育園等との交流の機会は少ない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		サービス提供記録や送迎時にて子どもの様子を共有している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	ペアレントトレーニングの実施はしていないがご家族に対して必要に応じて個別面談を実施している。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		モニタリング面談や、変更や更新のある際には分かりやすく説明をしている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		面談や日々の子どもの様子をよく把握、共有したうえで、子どもや保護者の意見を尊重し支援計画を作成している。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		送迎の際に説明を行い同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		必要に応じて個別に面談を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		保護者間の交流会を検討している。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		速やかに対応できる体制を整えている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	毎月新聞という形で、日々の子どもの様子や活動内容について書面で配布している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報は公開簡易に注意し、写真等の掲示については保護者の意思確認と許可の有無を徹底している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		状況に応じた配慮に努めている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		個人情報の関係から実施には至っていないが検討の余地はある。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルを作成し周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		避難訓練を定期的に実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		事前に確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		確認し対応に努めている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		毎月の研修や安全管理を実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		月ごとにヒヤリハットを作成し、共有と対策に取り組んでいる。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修に参加し、周知すると共に適切な対応を心がけている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		組織的な決定事項を基に、保護者へ説明し了承を得ている。		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ステップスマイルのだ		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習支援 教員免許を持つ指導員による学習面のサポートは、実学年より前の基礎から復習したり個々の学習状況に合わせた支援を行っている。	一人ひとりの課題や特性に合わせた活動内容を提供している。	保護者との連携をさらに密にし、児童の家庭や学校での様子について把握したうえで、適切な支援ができるようにしていく。
2	不登校支援 心理士資格を持つ職員を配置することで、学校や家庭などのコミュニティにおけるストレスに対して適切な助言、支援を提供できる体制を整えている。	本人のその日の様子によって、学習に取り組んだりコミュニケーションに時間をしっかり使ったり、安心して過ごせる環境作りを努めている。	保護者との連携をさらに密にし、事業所での様子での細かい変化や発言を共有し適切な支援ができるようにしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の場、お出掛け支援を行う機会が少ない。	地域のイベントや保護者同士の交流の場をもっと広げていきたい。	地域のイベントの把握や人員の配置を確保するなど、できる事を増やしていく。
2	階段を含む構造であり、日常的に階段の昇降が必要になる。	メインルームが2階、音楽・運動スペースが3階に設置されているため、生活や活動の同線の中で階段移動が生じる構造になっている。	安全確保を最優先とし、職員間の連携を図りながら見守りを徹底している。
3			

公表 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 ステップスマイルのだ

公表日 2026年 3月 4日

利用児童数 6

回収数 6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6					安全に楽しく過ごせるように工夫しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6					適切な人員配置をしています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6					階段はあるものの、手すりを設置するなどバリアフリー化に努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	6					子どもたちが過ごしやすいように考え工夫しています。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					半年に1回のモニタリング面談を実施しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					公表しているプログラムと支援内容は合わせるようにしています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					子どもと保護者のニーズを第一に考え、どのようなことが出来るかを考え支援に努めています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					具体的な支援内容の設定に努めています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5				1	同じものが続かないように工夫して取り組んでいます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4		1		1	他事業所との交流はありますが、放課後児童クラブや児童館との交流に関しては検討中です。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					契約時に説明を行っています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5				1	行っています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5				1	ペアレントトレーニングは行っていませんが、保護者からの希望や必要に応じて個別面談を実施しています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	6					面談時や送迎時、サービス提供記録にて子どもの状態や特性に合わせたアドバイスをさせていただきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					半年に1回のモニタリング面談を実施しています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					その都度、悩みや不安に対して助言をさせていただきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1			2	保護者交流会については検討しています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					その都度対応をしています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5			1		視覚支援やデジタル媒体を使用し情報伝達を行うようにしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5			1		行事予定や活動の様子をお便りにてお伝えしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5			1		職員全員に周知し徹底しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5			1		マニュアルを作成しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			1		避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			1		安全の確保をしようとして支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			1		契約時に説明を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6					安心感を持って通所してもらえるよう環境を整えています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6					今後も楽しんで通所していただけるように工夫して取り組んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6					個々の特性やその時の状況に合わせた支援を考え実施しています。

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	ステップスマイルのだ				公表日	2026年 3月 4日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		定められた定員、スペースで過ごしている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		適切な人員を配置している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	階段はあるが、手すりや滑り止めを設置している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の掃除と玩具の消毒を徹底している。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		学習や気持ちを気持ちのクールダウンのために必要に応じて3階を個別に使用している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		MTGにて周知、共有をしている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		モニタリングや個別面談に加え、保護者の方からのご意見やご要望があった際には迅速な対応に努め改善に繋げている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎朝のMTGや共有ノートまたデジタル媒体にて意見交換を行い業務改善に繋げている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	他事業所や相談支援員さんからのご意見やご指導をいただくようにしている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7		法人内研修や定期的な研修案内より希望する研修に参加できる。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	保護者や外部からの視点を工夫し、子どもの生活空間の一部に馴染むよう工夫している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		半年に1回のモニタリング面談や送迎時に小まめにコミュニケーションを計りニーズに合わせた支援計画を作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		子どもに関わる職員全員で会議をし検討し作成している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		職員全員が支援計画書に目を通し、前日の取り組みなどを共有し計画に沿った支援になるように努めている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	児童の様子や適応行動を日誌や療育記録として記録している。	専門的なツールがあれば活用したい。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		ガイドラインに沿った支援計画を設定している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		MTG内にて職員間で相談しながら立案している。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		固定化しないよう活動の振り返りにてプログラムに工夫を加え取り組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		子どもの状況に応じて個別活動と集団活動での支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝のMTGにて支援内容、役割分担を確認共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	必要に応じてデジタル媒体にてし情報共有をしておいたり、翌日のMTG内でも共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		検証・改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年に1度のモニタリング面談を実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	職員間で意見を出し合い行っている。	地域交流の機会についての取り組みが課題である。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		子ども自身が選択できるよう活動内容に選択肢を用意し自分で意思決定できる支援に努めている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		子どもの普段の様子をよく理解した者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		今後も連携を計っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	送迎対応の職員が分かるように顔写真付きの送迎者リストを配布し、送迎の際に双方の情報共有を行うようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	情報共有できている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	それまでの支援内容をまとめ移行する事業所に共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		今後も積極医的に研修などに参加していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		今後も増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4		今後増やしていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		サービス提供記録や送迎時などに保護者の方と情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	ペアレントトレーニングの実施はしていないがご家族に対して必要に応じて個別面談を実施している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時や更新事項がある際には資料に沿って伝え漏れがないよう丁寧に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		面談や日々の子どもの様子をよく把握、共有したうえで、子どもや保護者の意見を尊重し支援計画を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	2	送迎の際に説明を行い同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		必要に応じて電話等で助言の機会や面談の機会を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	3		今後保護者の意向を踏まえ実施したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		利用契約時に窓口等の説明を行い迅速に対応ができるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月、書面をスマイル新聞として配布し、活動内容や行事等を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報は公開簡易に注意し、写真等の掲示については保護者の意思確認と許可の有無を徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		視覚支援やデジタル媒体を活用し情報伝達を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		個人情報の関係から実施には至っていないが検討の余地はある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルを作成し周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		避難訓練を定期的実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時、アセスメントシートにて事前に確認している。追加の服薬等がある際には共有いただくように伝えている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		事前に確認し個別に対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		気付いた際の共有と対策に加え、月に1度安全計画に沿って安全管理をしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画を周知し連携が図れるようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		報告書の作成、対策を周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		年に1度マニュアルに沿って研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		組織的な決定事項を基に、保護者へ説明し了承を得ている。		